

アソカ講話051

テーマ「天知る、地知る、己知る」

小さな人生論第2巻6章に次の言葉が載せられている。「天知る地知る己知る」という言葉である。

「人は知らずとも、天は知っている、地も知っている、自分も知っている。そう思って、己の誠を尽くしていく。人を相手にするのではなく、天地を相手に相撲を取る。道は無窮であることを教える言葉である」と解説してくれている。

この言葉は、人をごまかせても、天は見ている、天をごまかすことはできない。そして何よりも自分自身が一番知っている。自分自身に恥じない生き方をせよと教えてくれていると思う。

同時に、こんなにしているのにどうしてわかってくれないのかという思いに対して、人に評価を求めなくていいよ、天や地はあなたのことを見ている、知っている、そして、あなた自身が一番知っているでしょう。あなたがどのような思いでどう生きたかは・・人に評価を求めるのではなく、天を見て生きていけば清々しく生きることができるよと教えてくれている。私自身、時折、天知る、地知る、己知ると言う言葉を自分に語りかける。その言葉に、凜とすると同時に自分自身を生きる勇気を頂いている。